

立川そうぞう会議 2035

ニュースレター vol.2

第2回 立川そうぞう会議 2035 を開催しました！

立川市では現在、令和7(2025)年度から10年間の市政運営の指針となる、新たな長期総合計画の策定に取り組んでいます。この計画の策定に向けて、市が目指すべき姿や課題、必要な取組の方向性等について話し合うための、市民ワークショップを開催しています。

全6回のワークショップを開催し、まちのこれからについて考えていきます。多くの方に参加いただき、第2回ワークショップを開催しました。



第2回 立川そうぞう会議 2035 開催概要

日時 : 令和5年7月22日(土)

13:30~16:00

場所 : 立川市役所 302 会議室

参加人数: 37名

テーマ「立川を語ろう

～魅力と課題を洗い出す～」

- はじまり
- ステップ1 立川の魅力と課題を出し合おう
- ステップ2 政策(都市像)ごとに分類しよう
- 成果発表
- まとめ

【全6回プログラム】

- 済 第1回 6/18 立川を知ろう
- ★ 第2回 7/22 立川を語ろう
- 第3回 8/26 都市像を考えよう
- 第4回 9/30 都市像・将来像を決めよう
- 第5回 10/23 都市像・将来像を描こう
- 第6回 11/23 発表しよう

第6回の報告会は
どなたでもご参加
いただけます(※)



※報告会の参加方法等は、今後、
広報たちかわや市 HP でお知らせいたします

第2回 立川を語ろう

～魅力と課題を洗い出す～

はじめ

第2回は、立川の魅力と課題について考えるプログラムです。立川の将来を考えるにあたり、みなさんが普段の生活の中で、立川についてどう感じているか、どのように関わっているかを改めて考えるワークを行いました。

はじめに立川市より、市の状況について前回の振り返りと、将来人口推計調査の結果、来街者意向調査結果についての説明を行いました。また、立川市まちづくり部都市計画課小林誠二課長と東京都立大学都市環境学部都市政策科学科朝日ちさと教授からお話がありました。

<まちづくりの動向について>

立川市まちづくり部都市計画課 小林誠二 課長

立川市のまちの変遷や、人口減少・高齢化による都市の課題、今後のまちづくりの方向性として国が示している「コンパクト＋ネットワーク(中核拠点や生活拠点が利便性の高い公共交通で結ばれた多極ネットワーク型コンパクトシティ)のまちづくり」について、説明を行いました。



<フューチャーデザイン>

東京都立大学都市環境学部都市政策科学科 朝日ちさと 教授

フューチャーデザインとは・・・社会やそのしくみも変わり得るし、個人の価値観や考え方も変化する。そのことを前提としてものごとを考えていこう、という学際的な未来学の考え方です。これからは社会はどんどん変わっていき、それに伴い、個人の考え方なども変化していくでしょう。

まちの将来について考える時、フューチャーデザインの目線を持って想像することで、新しい意見が出てくるかもしれません。

ステップ1 立川の魅力と課題を出し合おう

第1回と同じメンバー構成で、7つの班に分かれてワークを行いました。

班ワーク

立川の魅力と課題について、各自の意見を出し合いました。魅力はピンクのふせんに、課題は青のふせんに書き出しました。



ステップ2 政策（都市像）ごとに分類しよう

<第4次長期総合計画の政策と進捗について> 立川市総合政策部企画政策課 渡貫泰央 課長

「政策」とは…ある一定の大きさの行政課題に対応するための基本的な方向性

第4次長期総合計画における政策は以下の5つですが、課題の捉え方で、時代により政策の数は変わります。

「子ども・学び・文化」「環境・安全」「都市基盤・産業」「福祉・保健」「行政経営・コミュニティ」

【中間総括】第4次長期総合計画では5つの政策の中に37の施策が定められていますが、そのうちの26施策は成果指標の目標到達率が80%を超え、将来像である「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」に向けたまちづくりが進んでいます。

～魅力・課題シートに貼り分ける～

班ワーク

第5次長期総合計画に向けて考えるために、ステップ1で各自が出した立川の魅力と課題の心せんを、第4次長期総合計画の5つの政策に当てはめて分類しました。5つの政策に当てはまらないと考えられた意見は「その他」としました。

班のメンバーで、似たような意見をまとめたり、気づいた意見を追加しながら共有しました。



政策	魅力	課題
子ども・学び・文化	<ul style="list-style-type: none"> 遊び場、公園が多い 花火大会などイベントが多い インスタ映えする場所が多い アートのみち プロスポーツチームがある エンタメが充実 	<ul style="list-style-type: none"> 公園、ボール遊びできる公園が少ない 子育て世代が転出 伝統行事が減っている 施設のIT対応が弱い
環境・安全	<ul style="list-style-type: none"> 自然が豊か 田舎の風景 畑があり野菜が手に入れやすい 昭和記念公園 玉川上水遊歩道 根川緑道 残堀川 多摩川 	<ul style="list-style-type: none"> 治安が悪い(特に駅前、夜間、客引きなど) 地震への備えが不足 農地の宅地化 PFASについて
都市基盤・産業	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便がよい(都心へのアクセス) 駅近くの商業施設の充実 飲食店の充実 立川産野菜 花火大会などシティプロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> 道が狭い 道路の渋滞 空き家が多い 市内の移動手段 駐車場が少ない 市役所へのアクセス
福祉・保健	<ul style="list-style-type: none"> 障害者団体のネットワークが多い 医療機関の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉人材不足 音声信号機が少ない 高齢化 介護タクシー不足 障害者用トイレ整備
行政経営・コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体のプログラムがある 立川市 LINE 情報 地域のイベントが多い 自治会で祭り等イベント 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会加入率の低下 地域行事がない 公共施設の老朽化 人口減による財政悪化
その他	<ul style="list-style-type: none"> チカイナカ(近い田舎) 都心部より家賃が安い 	<ul style="list-style-type: none"> 観光スポットが少ない オンリーワンがない

※全班的魅力・課題シートからの抜粋

成果発表



各班でどのような意見が出たか共有するために、全体に向けて発表しました。

どの班もたくさんの意見が出ていました。ふせんの数で見ると「都市基盤・産業」に関する意見が多く出ていました。世代を超えて、立川に対して同じような魅力、課題を感じている様子や、世代ならではの視点の違いへの気づきもありました。

まとめ

東京都立大学 都市環境学部都市政策科学科 朝日ちさと 教授

立川の魅力と課題についてのワークを通して、立川の色々な側面の話が出てきました。様々な経験や感覚をお持ちの方たちが集まっているからこそだと思います。

拠点都市・立川と住民のみなさんとの関わりについて、共通する意見もありましたし、世代別、地域別によって異なる意見もありました。

個人の関わり、つながり、ストーリーによって地域ができていくことを実感しました。本日の成果を次回につなげていきましょう！

第3回ワークショップは
令和5年8月26日(土)開催予定です



参加者のみなさんからいただいた意見は、市ホームページ等で公開する予定です。市では積極的な情報発信に努めてまいります。今後も、長期総合計画に関する情報を提供していきますので、ぜひご利用ください。

■立川市 長期総合計画関連の情報(市ホームページ)

<https://www.city.tachikawa.lg.jp/shise/sesaku/kekaku/index.html>

上記 URL のほか、QR コードからも閲覧できます→



発行:立川市総合政策部 企画政策課

住所:〒190-8666 東京都立川市泉町 1156-9

電話番号:042-523-2111 FAX:042-521-2653